

札幌市における市民まちづくり活動に係る既存事業の特徴と課題

1 情報の支援

- ① 防犯、ウォーキング、観光など、特定内容に特化した情報の提供事業が多い。
- ② まちづくりに関する情報を総合的に収集・提供する仕組みは現在少ないことから、まちづくりポータルサイトの存在意義は極めて高い。
- ③ 団体のPRを直接支援する仕組み（HPでの団体紹介など）はあるが、団体のPR力そのものを高める支援が今後の課題となる。
- ④ 現在の「情報の支援」施策を類型化すると、
 - 行政基本情報（各種統計情報）
 - 生活必要情報（市民が安全安心に生活を送るにあたり必要な基礎情報）
 - 特定内容情報（各部局が流している特定の政策目的のための分野ごとの情報）
 - 活動支援情報（まちづくり活動の支援を目的とした直接活動に役立つ情報） となる。

2 人材の育成支援

- ① 分野としては、福祉と環境が比較的多い。特定の分野における育成が大半を占める。
- ② 育成目的としては、リーダー育成（14）、こども向け（11）、ボランティア育成（8）が多く、その他、専門者養成、特殊知識・技術の習得がある。
- ③ 全体の傾向として、従前から現在に至るまで「活動の担い手育成」を目的とした学習機会が多く、そういう意味では、「個人」の技量・技術・知識の向上を目指すものが多かった。

→ 今後、○ 個人が社会（団体）につながり活動していく視点

（個人の活動の継続化、団体への参画、グループの結成など）

○ 団体の担い手として育成を図る視点

（組織のマネージメント、運営、後継者育成、広報など）

が重要である。

☆ 「活動の担い手育成」の視点から

「個人－個人のネットワーキング（グループ化）」

「団体への参画」

「団体の担い手育成」

の視点へ

- ④ リーダー、ボランティア、専門者向けの事業はあるが、コーディネーター、ファシリテーターの養成はほとんどない。

- ⑤ 「行政との協働」の講座はなく、「広報」に関する講座も少ない。助成金の申請に関する講座はサポートセンターが実施している。

※ 他の民間団体が行なう講座・講習との棲み分けに注意が必要である。

3 活動の場の支援

- ① 分野ごとに活動の場が設置されている。
- ② 現在、サロンはシニアと子ども（親も含む）に特定されている。
- ⇒ 世代を超えた交流サロンは少ない。
- ⇒ 今後、公共・民間も含めサロン（地域の居場所）は、地域のまちづくり情報の発信、住民同士の交流、まちづくり活動への橋渡しといった機能を持っていく可能性がある。（多様な人々が集まる場、地域まちづくりの拠点）
- ⇒ 地域のサロンの掘り起こしを行い、サロン情報の収集を行なうことも検討する必要がある。それと同時に、サロンの立ち上げの支援についても検討する必要がある。

4 財政的支援

- ① 元気まちづくり支援事業が区の実情に応じた支援を実施している。
- ② はつらつシニアサポート事業が、シニアの社会貢献活動への支援を実施している。
- ③ 団体の初動や小規模団体への支援は、さぽーとほっと基金が行なう余地がある。
- ⇒ さぽーとほっと基金の多様な展開の可能性
- ⇒ <スタート→継続→安定→充実>をカバーする支援のあり方

5 交流、連携の促進

- ① 市民、町内会、NPO、企業、行政といった様々な団体が会する重要なイベントがまちづくりフェスタである。
- ⇒ このお互いのつながりを日常につなげていくための仕掛けづくりが必要。
- ② まちづくりフェスタと「NPOと企業のマッチング」の連動が考えられる。
- ③ 団体間の連携した取組を「協働推進事業」として位置づけ、基金助成対象のメニューとするなどについて検討する必要がある。
- ④ 市民まちづくり活動団体同士の交流・連携を促進するコーディネーターを育成し、活動団体全体のレベルアップを目指す必要がある。
- ⑤ 市民ニーズの把握、効果的な寄付集め、団体のPRなどについて連携して取り組む基金登録団体によるネットワーキングの可能性が考えられる。

6 市民参加の促進

- ① 花植え、ゴミ拾いなど、環境分野が24と最も多い。
- ② 町内会の情報発信をまちづくりフェスタを活用して行うことが有効と考えられる。
- ③ 企業の社会貢献活動の促進では、企業が定期的集まり、情報交換・交流する場、企業ノウハウをまちづくりに活用する講座、NPOと企業のマッチングイベント、社会貢献について考える企業間のネットワーク会議などが考えられる。
- ④ 地域住民が気軽に集える交流の場として地域のサロンが重要な役割を有する。

7 キーワード

- 市民力、ネットワーク力、地域力 → まちづくり力
- つながり、コーディネート
- 市民まちづくり活動
- 企業市民活動（企業による市民まちづくり活動の意）
- 市民と市民が支え合う、まちづくりの札幌スタイル